

# 事前伺い

[平成20年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置

注1

国立大学法人宇都宮大学大学院工学研究科  
システム創成工学専攻

注2

## 【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 宇都宮大学  
平成22年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 シヨソウム総務課 ホウキョウ法規調整係長 ワタナベ 渡邊 フミシロ 文彦

電話番号 028-649-5011

（夜間） 028-649-5011

F A X 028-649-5027

e-mail syosoumu@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は事前伺い手続き時の設置計画の概要の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載いただき、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部  
(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 〇〇学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科（通信教育課程）」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

## 目 次

- 1 調査対象大学の概要等
- 2 授業科目の概要
- 3 既設大学等の状況
- 4 教員組織の状況
- 5 その他全般的事項

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 宇都宮大学

## (2) 大学名

宇都宮大学大学院

## (3) 大学の位置

〒321-8585  
栃木県宇都宮市陽東7の1の2  
〔 〒321-8505  
栃木県宇都宮市峰町350 〕

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は, 平成20年度開設の博士後期課程の場合(平成22年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(4) -① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
工学研究科 システム創成工学専攻(博士後期課程)  博士(工学)	年 3	人 30	人 90	基礎となる学部名等  工学部 工学研究科(博士前期課程)

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

(4) -② 調査対象研究科等の入学者の状況

区 分	報告年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平均入学定員 超過率	備 考
A 入学定員	( )人 30	( )人 30	( )人 30	0.91		
志願者数	( 22 ) 27	( 21 ) 35	( 12 ) 27			
受験者数	( 22 ) 27	( 20 ) 34	( 11 ) 26			
合格者数	( 21 ) 25	( 20 ) 34	( 11 ) 26			
B 入学者数	( 20 ) 24	( 20 ) 33	( 11 ) 25			
入学定員超過率 B/A	( ) 0.80	( ) 1.10	( ) 0.83			

- (注) ・ ( )内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。  
 ・ 「平成22年度」には, 平成22年5月1日現在の状況を記入してください。  
 ・ 「平成20~21年度」には, 確定した数値を記入してください。

(4) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	備 考
1年次	[ 3 ] 24	[ 8 ] 33	[ 7 ] 25		
2年次	[ ]	[ 3 ] 23	[ 7 ] 30		
3年次	[ ]	[ ]	[ 3 ] 21		
計	[ 3 ] 24	[ 11 ] 56	[ 17 ] 76		

- (注) ・ [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含まれていない学生については記入しないでください。  
 ・ 各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(4) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成19年度	計 [ ]	計 [ ]	[ ] %
	うち平成19年度入学者 人	うち平成19年度 人	%
(主な退学理由)			
平成20年度	計 [ 0 ]	計 [ 3 ]	[ 0 ] % 4.2 %
	うち平成19年度入学者 一人	うち平成19年度 一人	
	うち平成20年度入学者 1人	うち平成20年度 24人	
	(主な退学理由) ○勉強意欲の喪失のため		
平成21年度	計 [ 0 ]	計 [ 11 ]	[ 0 ] % 3.5 %
	うち平成19年度入学者 一人	うち平成19年度 一人	
	うち平成20年度入学者 1人	うち平成20年度 24人	
	うち平成21年度入学者 1人	うち平成21年度 33人	
	(主な退学理由) ○業務多忙のため, 経済的事情のため		
平成22年度	計 [ 0 ]	計 [ 18 ]	[ 0 ] % 0 %
	うち平成19年度入学者 一人	平成19年度 一人	
	うち平成20年度入学者 0人	平成20年度 24人	
	うち平成21年度入学者 0人	平成21年度 33人	
	うち平成22年度入学者 0人	平成22年度 25人	
(主な退学理由)			

(注)・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。

- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者（累積）で除した割合（%）を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
  - ・就学意欲の低下   ・学力不足   ・他の教育機関への入学・転学   ・海外留学
  - ・就職   ・学生個人の心身に関する事情   ・家庭の事情   ・除籍   ・その他

## 2 授業科目の概要

<工学研究科 システム創成工学専攻/博士後期課程>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	循環生産工学コース科目	機械微細加工学特論	1・2・3	2		1						
		材料評価学特論	1・2・3	2		1						
		機械要素学特論	1・2・3	2		1						
		環境システム学特論	1・2・3	2		1						
		建築構法学特論	1・2・3	2		1						
		建築材料学特論	1・2・3	2		1						
		水文学特論	1・2・3	2		1						
		構造材料学特論	1・2・3	2		1						
		変形プロセス工学特論	1・2・3	2				1				
		工作機械特論	1・2・3	2				1				
		生産加工学特論	1・2・3	2				1				
		材料機能学特論	1・2・3	2				1				
		非線形システム設計特論	1・2・3	2				1				
		メカトロニクス特論	1・2・3	2				1				
		耐震システム工学特論	1・2・3	2				1				
	建築材料破壊安全学特論	1・2・3	2				1					
	環境都市計画特論	1・2・3	2				1					
	機能創生工学コース科目	超伝導物性特論	1・2・3	2		1						
		量子電子工学特論	1・2・3	2		1						
		高電圧機器特論	1・2・3	2		1						
		放電工学特論	1・2・3	2		1						
		環境生物化学特論	1・2・3	2		1						
		無機合成化学特論	1・2・3	2		1						
		表面量子物性特論	1・2・3	2		1						
		機能性高分子特論	1・2・3	2		1						
		精密合成化学特論	1・2・3	2		1						
膜反応工学特論		1・2・3	2		1							
生物工学特論		1・2・3	2		1							
数理物理学特論	1・2・3	2			1							
超伝導電子工学特論	1・2・3	2				1						
固体物性特論	1・2・3	2				1						
固体電子物性特論	1・2・3	2				1						
固体物性化学特論	1・2・3	2				1						
有機素材化学特論	1・2・3	2				1						
天然素材化学特論	1・2・3	2				1						
物性化学工学特論	1・2・3	2				1						
環境計測特論	1・2・3	2				1						
合成素材化学特論	1・2・3	2				1						
分子計測機能特論	1・2・3	2				1						
物性論特論	1・2・3	2				1						

専 門 科 目	知 能 情 報 学 コ ー ス 目 録	暗号学特論	1・2・3	2	1					
		バイオメカニクス特論	1・2・3	2	1					
		幾何工学特論	1・2・3	2	1					
		非線形動力学特論	1・2・3	2	1					
		フォトニックネットワーク特論	1・2・3	2	1					
		建設情報学特論	1・2・3	2	1					
		コミュニティ計画学特論	1・2・3	2	1					
		非線形数学特論	1・2・3	2	1					
		情報技術とコミュニケーション特論	1・2・3	2	1					
		画像通信工学特論	1・2・3	2	1					
		医用電子画像システム特論	1・2・3	2	1					
		計算機工学特論	1・2・3	2	1					
		パターン情報処理特論	1・2・3	2	1					
		メディア情報特論	1・2・3	2	1					
		情報通信セキュリティー特論	1・2・3	2	1					
		バイオエンジニアリング特論	1・2・3	2		1				
		電力変換工学特論	1・2・3	2		1				
		情報伝送工学特論	1・2・3	2		1				
		アドバンスト制御工学特論	1・2・3	2		1				
		システム制御工学特論	1・2・3	2		1				
		マンマシンシステム特論	1・2・3	2		1				
		建築環境計画特論	1・2・3	2		1				
		ソフトコンピューティング特論	1・2・3	2		1				
		機能集積情報システム特論	1・2・3	2		1				
		画像データ処理特論	1・2・3	2		1				
		生体情報計測特論	1・2・3	2		1				
		画像情報処理特論	1・2・3	2		1				
		画像符号化特論	1・2・3	2		1				
		知識処理特論	1・2・3	2		1				
		学 際 先 端 シ ス テ ム 学 コ ー ス 目 録	電磁エネルギー科学特論	1・2・3	2	1				
			超伝導エネルギー工学特論	1・2・3	2	1				
			熱流動エネルギー移動特論	1・2・3	2	1				
			マイクロ応用加工学特論	1・2・3	2	1				
	環境地盤工学特論		1・2・3	2	1					
	視覚情報処理特論		1・2・3	2	1					
	感性工学特論		1・2・3	2	1					
	物質機能解析特論		1・2・3	2	1					
	光デバイス工学特論		1・2・3	2	1					
	複合構造工学特論		1・2・3	2	1					
	磁性材料特論		1・2・3	2	1					
	荷電粒子ビーム工学特論		1・2・3	2		1				
	応用電気化学特論		1・2・3	2		1				
	乱流エネルギー特論		1・2・3	2		1				
	環境設計特論		1・2・3	2		1				
	陸・水圏環境科学特論		1・2・3	2		1				
	音響情報解析特論		1・2・3	2		1				
	機能性界面化学特論		1・2・3	2		1				
環境応答材料化学特論	1・2・3		2		1					
ロボットビジョン特論	1・2・3		2		1					
地震防災学特論	1・2・3		2		1					
機能性流体プロセッシング特論	1・2・3		2		1					
光学薄膜特論	1・2・3		2		1					
機能光学特論	1・2・3		2							
超高周波工学特論	1・2・3	2								
高エネルギー粒子物理学特論 I	1・2・3	2								
高エネルギー粒子物理学特論 II	1・2・3	2								
技術教育特論 II	1・2・3	2								
エネルギーシステム工学特論	1・2・3	2								
ネットワーク応用システム特論	1・2・3	2								





(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。  
なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。  
・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	0	=	
設置時の計画の授業科目数の計	113		0

- (注) ・小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

### 3 既設大学等の状況

大学の名称	宇 都 宮 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次人	人		倍			
国際学部			3年次		学士	1.29	平6	栃木県宇都宮市峰町	
国際社会学科	4	50	5	210	(国際学)	1.31		350	
国際文化学科	4	50	5	210		1.27			
小 計	-	100	10	420		-			
教育学部					学士	1.10	昭24	栃木県宇都宮市峰町	
学校教育教員養成課程	4	150		600	(教育学)	1.11		350	
生涯教育課程	4	-		-		-			平成21年度より学生募集停止
環境教育課程	4	-		-		-			平成21年度より学生募集停止
総合人間形成課程	4	60		120		1.04			平成21年度より学生募集開始
小 計	-	210	0	840		-			
工学部			3年次		学士	1.10	昭39	栃木県宇都宮市陽東	
機械システム工学科	4	79	┐	316	(工学)	1.08		7-1-4	
電気電子工学科	4	79	┐	316		1.10			
応用化学科	4	83	┐ 30	332		1.06			
建設学科	4	70	┐	280		1.17			
情報工学科	4	74	┐	296		1.10			
小 計	-	385	30	1,600		-			
農学部			3年次		学士	1.12	昭24	栃木県宇都宮市峰町	
生物生産科学科	4	105	┐	420	(農学)	1.17		350	
農業環境工学科	4	35	┐ 20	140		1.11			
農業経済学科	4	40	┐	160		1.07			
森林科学科	4	35	┐	140		1.05			
小 計	-	215	20	900		-			
合 計	-	910	60	3,760	-	1.13			

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者が、既に設置している大学の学部、学部の学科について平成22年5月1日現在の状況を記入してください。  
 (大学院に係るものについては、記入する必要はありません。)
- ・ 事前伺い手続き書類の「設置計画の概要」に準じて作成してください。
  - ・ 「定員超過率」欄には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科の記載は不要です。
  - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、備考欄に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

#### 4 教員組織の状況

<工学研究科 システム創成工学専攻（博士後期課程）>

専任教員数

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	
66	26	92	0	66	24	90	0	
( 66 )	( 25 )	( 91 )	( 0 )	[ 0 ]	[ Δ2 ]	[ Δ2 ]	[ 0 ]	

(注) ・ 「設置時の計画」欄には、設置時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成22年5月1日現在（就任予定の者を含む）の状況を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。  
 (記入例：1名減の場合：Δ1)

## 5 その他全般的事項

<工学研究科 システム創成工学専攻/博士後期課程>

情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (  有 ・  無 )

b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) ( 22 年 6 月 30 日 )

c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク  
(  承諾する ・  承諾しない )

d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス

(<http://www.utsunomiya-u.ac.jp/jyouhoukoukai/index.html#jyouhouteikyou>)

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。

なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : [d-secchi@mext.go.jp](mailto:d-secchi@mext.go.jp)

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。